



生活者ネットワーク 国分寺市議会議員 TAKE FREE

マサーヨがゆく vol. 11

日々の暮らしと政治はつながっています。これは、マサーヨこと小坂まさ代が、市政のことをより身近に感じていただけたらとの思いをこめて、仲間たちと作ったレポートです。ひとりひとりが自分らしく生きていける社会にしていけるために、あなたの声を聞かせてください。



Instagramもぜひご覧ください
@masayokosaka

今回は、よりみちことりさんにおじゃまします！

夏休みだよ！出張！マサーヨがきく

2025/8/7 (木) 13:00 ~ 18:00

どなたでも大歓迎！ご予約不要！

おとなも子どももおしゃべりしにお立ち寄りください！
「Let's Talk Card」というカードゲームで遊びながら語り合う
“今自分にとって大切なこと” 同時開催！

@よりみちことり 国分寺市東元町2-18-16

自転車置き場あります。国分寺駅南口徒歩7分

お問い合わせフォーム <https://kokubunji.seikatsusha.me/contact/>

「マサーヨがゆく」祝！10号発行記念原画展★開催報告

4/12と4/13の2日間、ギャラリー chibimado にて原画展を開催しました。開廊わずか10時間、しかもお天気に恵まれな日開催だったにも関わらず50名近くの方にお越しいただきました！日頃読んでくださっている皆様から直接感想を聞かせていただき、スタッフ一同、とても励みになりました。ありがとうございました！これからもどうぞよろしくお願いいたします。

マサーヨのHPにて感想を掲載しています。ぜひご覧ください！



小坂まさ代 暮らしのエッセイ

「姉のような人のこと」

20代の後半、世田谷区の岡本というところに住んでいたことがある。当時、足立区の実家に両親と弟と祖母と暮らし、青山のキラー通りにあったインテリアショップで販売の仕事をしていたのだが、ある年、そのブランドの姉妹店を桜木町の百貨店内にオープンすることになり、店長として異動することになった。

あるとき、「店まで遠くて通勤が辛い」と、元上司のカズエさんに愚痴をこぼすと、思いもかけず「うちに居候したら？」と誘ってくれた。話はとんとん拍子に進み、カズエさん夫婦とカズエさんのお父さんと私という奇妙な4人暮らしが始まった。カズエさんは姉御肌で面倒見が良く、料理上手だったので、その家には毎日のように誰かしらが遊びに来ていて賑やかだった。桜木町の店はあまり売上げが伸びず仕事の面ではつらかった時期のはずなのに、今となってはただただ楽しかった記憶しかない。

休みの日に、ひとりで多摩川沿いや静嘉堂文庫や砧公園までのんびりと散歩するのも好きだった。その後お互いに公私共々いろいろなことがあって、私が青山店に戻るタイミングでカズエさん一家も引っ越すこととなり、居候生活は2年ほどで終わりを告げた。

桜木町の姉妹店も青山の本店もずいぶん前に閉店した。岡本で一緒に暮らしたお父さんは10年ほど前に鬼籍に入られた。岩崎弥之助と小彌太によって創設された静嘉堂文庫は、その後丸の内に移転し、今はもう岡本にはない。

今でも人生の節々で迷ったり悩んだりすると、カズエさんの顔が浮かぶ。忙しさにかまけて不義理をしっぱなしなのに、いつ会っても笑顔で接してくれ、時には厳しい助言もくれる。洋服のおさがりは何十枚もったかわからない。丙午生まれで来年は還暦を迎えるのだが、初めて会った20代の頃から驚くほど変わらない。年を重ねることの豊かさをまとい、颯爽と前を歩む憧れの存在がいてくれたおかげで、加齢を憂うことなく生きてこられた。おそらくこれからもずっと。



著者、フラン・ピンタデーラさんによる読み聞かせ動画（スペイン語）



『どうしてなくの？』
文 フラン・ピンタデーラ 絵 アナ・センデル
訳 星野由美 偕成社

国分寺市在住の星野さんが翻訳されたこと知り、手に取った絵本。美しい絵と優しさにあふれた文章、巻末の涙についての科学読みもの「なみだのレントゲン」すべてが心に染み入ります。宝物といえる一冊。

小坂まさ代 国分寺の暮らし

第一子の妊娠中、壁一面作り付けの本棚のある古いアパートと出会い、緑もゆかりもなかった国分寺に転居。ふたりの娘に親として育てられている。2021夏、生活者ネットワークから市議補選に立候補し当選。2023春の市議選で再選。現在2期目。国分寺をより暮らしやすいまちにしたいと、子どもも含めた市民の声を市に届け続けている。泉町在住。総務委員会副委員長、国分寺駅・西国分寺駅周辺整備等特別委員会委員、議会運営委員会委員、浅川清流環境組合議員。

生活者ネットワークの活動

市民による市民のための政治団体です。国分寺では約40年に渡って活動しています。現在、3人の市議会議員（高瀬かおる、小坂まさ代、松岡まり）と都議会議員（岩永やす代）が市政と都政連携して活動中。お話し会、調査活動、学習会など楽しい活動がたくさん！お気軽にのぞいてみてください。



マサーヨ語録

5月の一般質問でのマサーヨの発言の中から印象的なものをピックアップ！これからも暮らしの中から声を届けていきます。



一般質問の様子を動画で見ることができます。ぜひご覧ください

こども家庭センターについて



新しくなったこども家庭センターで進んだことはどんなこと？



これまで児童福祉（光町）と母子保健（泉町）のやり取りは主に電話で行っていたんですが、この春から一緒に場所になり、必要に応じてすぐに関係の職員が集まって、打合せがスムーズにできるようになり、連携が強化されたと感じています。これからさらにチームで支援できるようがんばります。



引っ越してきたご家庭に支援が行き届くようにする工夫は？



支援を必要とするご家庭には転出先の自治体と密に連携を図って対応しています。



転入手続きのときに子育てガイド「ホッとおれんじこくぶんじ」が目に入るように、市役所2階フロアだけではなく1階の市民課窓口近くにも置いたり、悩みごと相談ページを紹介するなどして市に相談できることをお知らせしてみてください。

「ホッとおれんじこくぶんじ」って？

市で配布している子育てガイドブックのこと。公園や児童館の情報、子育て支援に関する制度、相談窓口のことなどを掲載しています。市役所のほかに、公民館や図書館でも配布中！



くわしくはこちらから（市のホームページ）
「やさしいにほんご」
ページもあります。



3期12年務めた井澤邦夫市長が引退。新市長に丸山哲平さんが選ばれました。70代から40代、子育て世代へのバトンタッチ。今後どのように変わっていくのが注目していきましょう！

生活者ネットこくぶんじ No.182 小坂まさ代の活動を紹介します

発行日：2025年7月1日 発行：国分寺・生活者ネットワーク 発行責任者：田中由紀

〒185-0024 国分寺市泉町3-33-16 西国分寺ハイツ103 TEL: 042-328-1864

FAX: 042-328-1878 ☑ kokubunji@seikatsusha.net <https://kokubunji.seikatsusha.me>